

# 海と川に親しむ

紹介するフィールドといきもの

## 和歌川河口

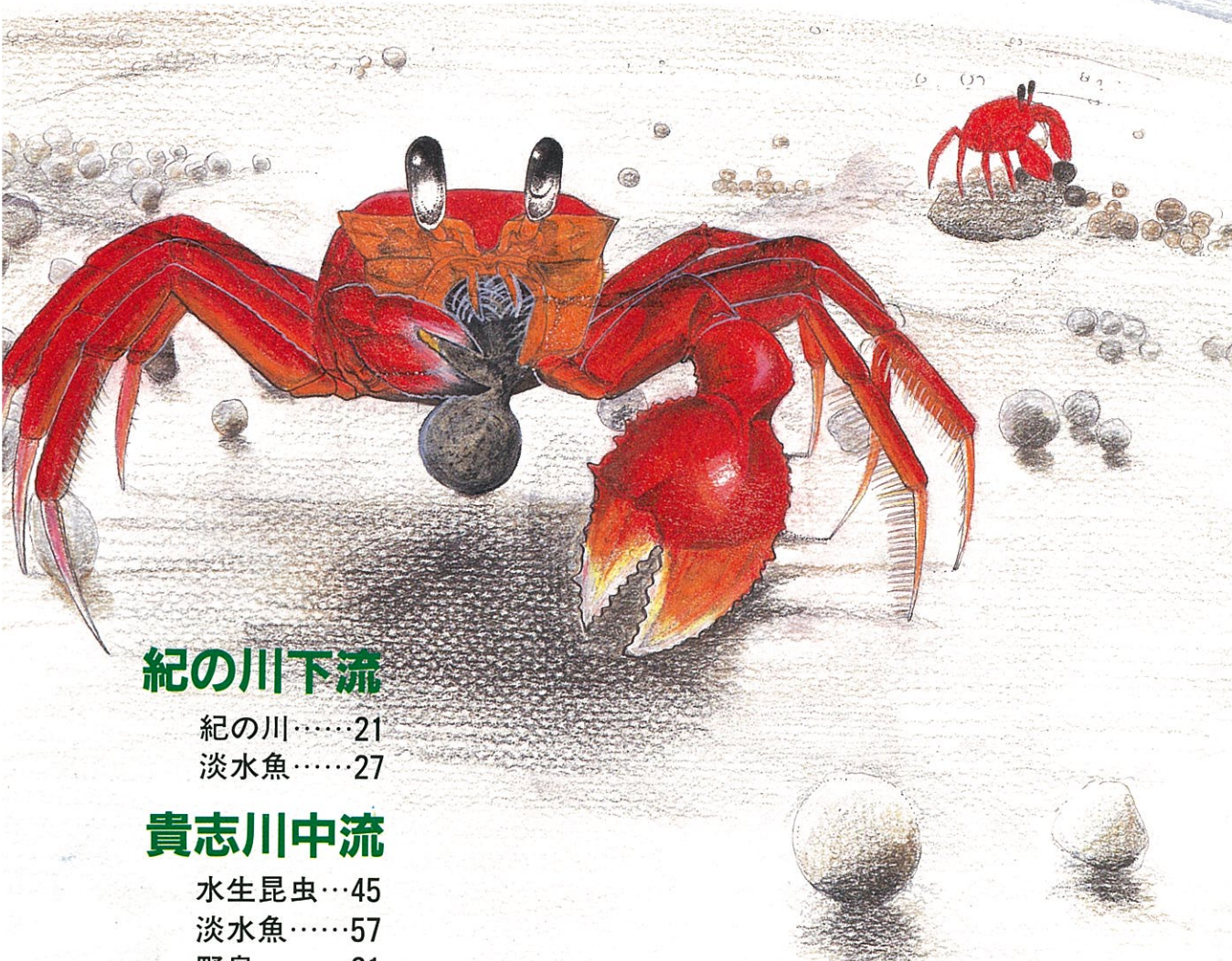
- 潮汐……3
- 干がたのいきもの……11
- ダンスをするカニ……14
- 野鳥……19

## 紀の川下流

- 紀の川……21
- 淡水魚……27

## 貴志川中流

- 水生昆虫…45
- 淡水魚……57
- 野鳥……61





# 和歌川河口

和歌川河口周辺には、都市にある河口としては珍しく広大な干がたと砂浜が残っています。

古代には紀ノ川の河口であったことを考えると、山部赤人が「わかぬ浦に 潮みちくれば 瀉をなみ 芦辺をさして鶴なきわたる」とうたった美しい風景が目浮かぶようです。

ここは、江戸時代には浅草ノリと肩を並べた和歌ノリの産地であったほか、塩田もあって紀州藩最良の三葛塩も生産されていました。

現在では、都市廃水が河口に流れ込まないよう、昼間スーパーマーケット横の水門が閉められ、淡水の影響の少ない河口となっています。

この章では、潮汐、干がたのいきもの、ダンスをするカニ、野鳥を紹介します。



亀の川でのチゴガニの観察

海南市

和歌山県立自然博物館

浜ノ宮海水浴場



和歌川河口でのヨメツキガニの観察



浜の宮のスナガニ

昭和50年に1600mの高さから（国土地理院）

紀三井寺

紀三井寺駅

旧紀三井寺競馬場

和歌川

内原

浜宮小学校

亀の川

和歌山市

国道42号線

毛見

布引

和歌川河口

片男波海岸

和歌浦湾

N ←

0 500m

和歌浦